



中央区

ときめくまちの ものがたり



ふるさとを
つくろう。



中央区 ときめくまちの ものがたり

こんにちは町会です 特別号
令和2年1月発行 刊行物登録番号 31-073

[企画・発行]
中央区区民部地域振興課
中央区築地一丁目1番1号
03-3546-5336

[編集・デザイン]
株式会社日精ピーアール



Nice Town Good People
こんにちは町会です 特別号



まちの魅力ってなんだろう？

まちには、夏の楽しい盆踊りや災害が起きたときのための防災訓練など、魅力があるイベントや、興味深いイベントが満載。ここでは一年間の主なイベントや参加時間の目安を紹介します。気になったものがあれば、ぜひ参加してみよう！

5月



豊海町会

クリーンデー

[参加時間] 1h

毎年「ごみゼロの日(5月30日)」に近い日曜日を「クリーンデー」として、町会・自治会などでまちの一斉清掃を行っています。ご近所の皆さんとの交流を楽しみながら、清潔で快適に過ごせるまちづくりを始めてみませんか。

7-8月



京橋八の部連合町会

盆踊り大会・納涼会

[参加時間] 1day

太鼓の音が響いてきたら、夏本番がやってきます。盆踊りの曲目も多様で、また子ども向けの縁日が催されていたりと、まちによって工夫が凝らされています。

Interview

子どもも大人も楽しめるよう、前半は子ども、後半は大人と時間を区切って実施しています。また、子どもの夏の思い出になるようにと、明正音頭など踊りやすい選曲をしています。

児童館などにも協力してもらい練習会も開催。住民のコミュニケーションの場として、気軽に参加してほしいですね。

※新川の7町会からなる連合体



京橋八の部連合町会*
松谷 慶久 会長

神田祭(中洲町会)



5月

山王祭(八丁堀四丁目東町会)



6月

住吉神社例大祭(月島四之部西町会)



8月

おみこし

[参加時間] 1~3day

「わっしょい」と響く、威勢のいい掛け声。まちが一番盛り上がる、数年に一度の最高潮。老若男女でおみこしを担ぎます。子どもだって山車や子どもみこしで参加できるかも。将来、親子でおみこしを担ぐことを目標に参加してみたいかがでしょうか。

※中央区では、こちらで紹介したもの以外にも、多くのお祭りが開催されています。

防災訓練

地震などの災害時に頼りになるのは、近所に住む皆さん同士の「共助」です。家族を守るためにも、まちの防災訓練への参加は重要です。

Interview

今回の防災訓練では、避難生活に欠かせない間仕切りテントやマンホールトイレの組み立て訓練、応急手当講習会、ペット同行避難に関する説明などを実施しました。数年前からは、同小学校PTAのOB「月二おやじの会」が炊き出し訓練を力強くサポート！1度体験しておけばいざという時に役立ちますし、隣近所と知り合うきっかけにも。小さいお子さんがいるお父さんお母さんたちにぜひ参加してほしいです。

※勝どきの3町会・1自治会などからなる委員会



月島第二小学校
防災拠点運営委員会*
(勝どき東町会会長)
藤枝 精治 委員長

[参加時間] 3h



9-11月

月島第二小学校防災拠点運営委員会

運動会

運動会のほかにも、バーベキュー大会やバスハイクなどまちごとに特色あるイベントが開催されています。まちに飛び込むチャンスです。

Interview

「10町会が仲良くなるきっかけに」とスタートした「ゴノちゃん運動会」も41回目となり、今回は1,500人が参加しました。最近は、親子での参加が増えていますので、毎回親子や子ども同士で楽しめるようなプログラムを検討しています。今回は体を動かしながら防災意識も持てる「めざせ!?消防士!？」を新競技に追加。町会単位で競い合うので、自然と顔なじみになれると好評です。

※東日本橋の一部、久松町、浜町、中洲の10町会からなる連合体



日本橋五の部連合町会*
高橋 伸治 会長

[参加時間] 1day



10月

日本橋五の部連合町会

お餅つき

[参加時間] 4h

しょうゆ、きな粉、あんこ、さまざまな味付けで振る舞われるお餅。つくのはもちろん、まちの皆さんです。ほかほかのもち米がお餅になっていく様に、子どもたちは目を輝かせます。まちによっては子ども用のきねや臼が用意されていることも。

Interview

12月恒例となった「子供餅つき大会」は昭和49年に始まり、今回で46回目を迎えました。人形町通りで5,400食分の餅をつきあげる一大イベントを大人も子どもも楽しんでいます。15町会が一体となって、まちを盛り上げるこの伝統をこれからの子どもたちにも守って行ってもらいたいですね。

※人形町の一部、蛸殻町、箱崎町、小網町の15町会からなる連合体



日本橋三の部連合町会*
中野 耕佑 会長

日本橋三の部連合町会



11-3月

明石町町会



12月

年末夜警

[参加時間] 1h

年末には地域によって「こども火の用心」など子ども中心の夜警があります。子どもたちの「ひのよーじん!」の掛け声でまちをパトロール。豚汁などが振る舞われることも。また、毎月の通常夜警も行われています。

子どものふるさつをつくらう！

子どもにとって、みこしを担ぎ、山車を引いた楽しさや自分でついた餅のおいしさは一生の思い出です。

また、子どもの安全を守るために、防災訓練や夜警に参加することは大切なことです。

これらまちのイベントの多くは、町会・自治会が運営しています。

今後も安全で安心な、にぎわいのあるまちにしていきたいためには、あなたの力が必要です。

興味のあるイベントへの参加やお手伝いから「子どものふるさとづくり」を始めてみませんか！

Interview with members

子どものふるさとの創造

魅力的で、楽しく、安心なまちになるように、日々工夫を重ね、住民同士で協力しながら活動している方たちがいます。そんな皆さんの想いをここで紹介します。

ライフスタイルに合わせ、無理のない参加を



新富町会
川端 隆文さん

町会活動というものは、地域に住み暮らす人なら誰もが生活の一部として自然な意識で参加し、支えていくべきものだと思いますが、新しく住み始めた方々からは、従来の町会運営は閉鎖的に見えてしまいがちです。私も若い頃は地域との関わりから離れていましたが、子どもができ、町会の芋掘りやバスハイクに誘ってもらって親子の楽しい思い出ができました。

10年ほど前、役員の高齢化が進む中、今度は自分が世話役に回る番だと思っ一方で、町会活動が受け継がれていくためには、「世代交代がスムーズに行われ、マンション住まいの方や新しく住み始めた方にも参加しやすい組織」にする必要があると考えました。そこで、若手世代に一人一人声を掛け、2011年に町会青年部を発足。イベントや祭りの手伝いなどを通じて、先輩世代にもその存在を認めてもらえるようになりました。

青年部では、毎月ミーティングを開いていろいろなアイデアを出してもらっています。若手や子育て世代からの企画は新鮮で、気付かされることも多いです。例えば、「もちつき大会」では、親子連れや希望者が気軽に参加できるように、臼の数を増やしました。年末の夜警では「子ども火の用心」を導入し、子どもたちにも拍子木を打つ体験してもらっています。

今後は、PTAの方々との協力体制をより深めつつ、商店会や近隣町会とも連携しながら、魅力ある活動を増やしていきたいと思っています。皆さんにはライフスタイルの違いもあるので、無理せず自分なりの関わり方で町会に参加してもらえたらいいと思います。私たちは、そのための機会をつくっていききたいと考えています。



町会HP

大人も子どもも一緒に「楽しく、元気に、かっこよく」



東日本橋三丁目町会
吉田 雄一さん 川名 純一さん 吉野 純さん

「橋町」で知られた東日本橋三丁目町会は、昔から住んでいる方と新しく越して来た方が世代の垣根を越え、一体となって町会活動に取り組んでいます。

青年部は「町の活性化と持続的な発展の担い手として貢献する」という活動理念を2年前に策定し、住民の皆さんが「一緒に参加したい」、「橋町に住んで良かった」と思えるようなさまざまな取り組みを開始し、その担い手となる青年部員の拡充にも力を入れています。

青年部メンバーは、小さい頃に参加した納涼会や餅つきなどが楽しかったことをよく覚えています。今の子どもたちにもそんな思い出に残る体験をさせたいと考えました。町会がより賑やかになり、かつ住民が参加しやすいイベントを青年部員も「楽しく」できることが大切と考え、昔から憧れていた「神田祭での子どもみこしの初宮入」というチャレンジングな目標を立てました。

みこし宮入には、担ぎ手となる子どもの関心を高め、人数を確保することが課題となるため、昨年4月、町内のパン屋さんに協力いただきホットドッグイベントを開催。親子一緒に参加を意識し、SNSなどを活用して準備したところ、250人を超える参加となり、担ぎ手の応募も目標を超えるほどに。その結果、5月の神田祭での子どもみこしの初宮入も大成功となりました。さらに、夏の大江戸まつり盆おどり大会や初冬の餅つき大会などに継続して多くの子どもたちが参加してくれました。

青年部は「楽しく、元気に、かっこよく」を合言葉に、子育て世代もお年寄りも安心して住める場所、子どもの成長を支え見守る地域という、まちの原風景をこれからも住民一体となりつくっていききたいと思っています。



町会Facebook

“オープンマインド”がうれしい



勝どき西町会
四登 夏希さん

町会に入るきっかけは、国・自治体向けの防災関係の業務に就いていることに加えて、子育て中ということも影響しています。自宅避難では情報が入手しにくく、また1995年の阪神淡路大震災では8割の人が共助によって救助されています。

町会は共助の要ですので、昨年1月に町会へ加入しました。4月からは広報担当として、本格的な町会活動がスタートしましたが、打ち合わせや会議のときでも子どもと一緒に参加できるので助かっています。

マンションの居住者からすると、町会に参加するということは結構ハードルが高いイメージを持たれていると思います。昔から住んでいる方とのつながりがなく、また共働き世帯は忙しく、町会行事に参加するのが難しいなど、不安に感じることも多いのではないのでしょうか。

私自身も、勝どきには地縁がないため、そう思っていたところがありました。ですが実際に参加してみたら、例えば子どもの登下校中に町会で知り合った方が声を掛けてくれるようになったり、自宅に遊びに行かせてもらったり、子どもの方が先に地域になじんでいます。町会の皆さんに子どもを見守ってもらっているという安心感があって、親としてはありがたいと感じています。

この町会という温かい共助ネットワークを、もっと子育て世代に知ってほしいし、生かしたいと考えていますが、やはり担い手が少ないことがネック。Facebookでの発信に加え、コンテンツをアップデートしながら、オープンマインドな町会に変えていくお手伝いをしていきたいと思っています。



町会Facebook

盆踊り大会の縁日コーナー（新富町会）



大江戸まつり盆おどり大会（東日本橋三丁目町会）

防災訓練集合時（勝どき西町会）



地域SNSの案内

PIAZZAで気軽にまちの情報交換！

中央区ではPIAZZA（株）と連携協定を締結し、児童館やあかちゃん天国のイベントなどの子育て支援情報を発信しています。

また、まちのイベントや気になる情報なども共有できます。まちを楽しみたい人はぜひご利用ください。



PIAZZA HP

子育て支援情報が満載！

まちのイベント情報を発信中！



施設のご案内

富士山麓、本栖湖畔の森のリゾート ヴィラ本栖

山梨県南都留郡富士河口湖町
本栖字上の原 218-119
TEL. 0555-87-2711



豊かな自然と良質な温泉が自慢の宿 伊豆高原荘

静岡県伊東市八幡野 1283-36
TEL. 0557-53-1163



憧れの銀座ウェディング、ご宴会は 銀座ブロッサム

東京都中央区銀座 2-15-6
TEL. 03-3542-8585



SNSで情報・活動をオープン化



町会に若手世代を呼び込む手段として、SNSの活用が増えてきています。人形町二丁目浪花会では、町会員のネットワークツールとして、コミュニケーションアプリ「LINE」などのSNSを活用しながら、地域に住む人や時代に合わせた仕組みづくりを進めています。「町会に必要なのは、IT化ではなくITの利活用です」と話す青年部長の磯部一郎さんに、活用のポイントを伺いました。

理想の下町コミュニティがここにはあります

最近、人形町界隈にもファミリー層向けのマンションが増え、小さい子どもがいる若手世帯が多く住み始めています。一方、同地域で生まれ育ってきた住民が中心の町会が高齢化が進み、若手=40代という状況でした。磯部さんは、「増えてきた子どもたちに将来まちの担い手になってもらうためには、親世代を巻き込みたいな、と考えたことがきっかけです」と振り返ります。子育てに共働きと忙しい親世代が町会活動に参加しやすい仕組みは何かと考えたときに、ITを活用したりリモートワーク*が便利だろうと思いつきました。

まず、LINEグループを活用して、催事の企画や準備をリモートワークで行うとともに、チーム(各部会)やイベント別にLINEグループを立ち上げて、やりとりを“みえる化”。併せて、おみこしの担ぎ手や町会員の友人など、町会員以外でも参加できる「サポーターズグループ」も設置し、LINEを通じて町会活動を手伝ってくれる方に対して情報を発信し対話できるようにしました。もちろん、SNSが苦手の町会員もいるため、回覧板・掲示板・メールといった既存手段も併用しています。

さらに、町会がこれまで続けてきた各種イベントの役割分担やスケジュールといった、一連のデータを共有化しました。ノートアプリ「Evernote」を使って、写真やテキストなどのデータを一括して保存。イベントごとに情報を蓄積するとともに、LINEグループを通じて町会メンバー

人形町二丁目
浪花会
青年部長
磯部 一郎さん



が閲覧できるようにしました。「見て学べ」ではなく、ITによってノウハウを共有・オープンにすれば、新規会員でも何をすればいいかが分かり、活動に参加しやすくなりますし、結果的に参加意識を高めることにもつながっています」と磯部さんは話します。

そして、「出席数不問・返信必須」の文化を根付かせました。「お手伝いに1回でも来てくれるだけでありがたいのですから、参加できないときは欠席してもいいんです」とイベントなどへの欠席をとがめることを徹底的に取り締まり、欠席しても次に参加しやすいようにしました。ただし、「出欠席の連絡は必ずして欲しい」と返信必須も徹底したことが奏功し、イベントなどへの参加率が3割増えたといいます。

最後に、「一番大事なことはどんなまちにしたいのか、という想いと、そのために入口を開けて入りやすいようにすること」とも。町会を通じて地域のにぎわいを生み出すためには、人のネットワークが不可欠。SNSはそのための手段だとしています。

Point

- ITを活用して活動の“みえる化”
- イベントなどのノウハウを共有化
- 「出席率不問・返信必須」の文化を徹底



*リモートワーク…インターネットを活用した遠隔作業

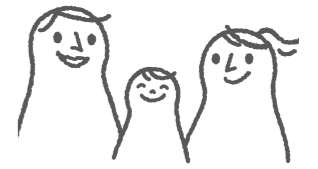


青年部ホームページを開設し、メンバーや「初めてのお祭講座」などを紹介している。



町会青年部HP

まちの情報を知りたい



まちのイベントに参加したいけれど、どう参加すればいいかわからない。町会・自治会に興味があるけれど、誰に連絡をすればいいかわからない。そんなお悩みをこちらで解決します。

インターネットから確認する

詳細はこちら!

●中央区町会・自治会ネット

町会・自治会のプロフィールページには連絡先などを掲載しています。他にもまちのイベント情報やどんな活動をしているのか確認ができます。



中央区 町会・自治会ネット



トップページ プロフィールページ 活動報告ページ

●SNS (FacebookやTwitterなど)

町会・自治会によっては、SNSを立ち上げて、イベント情報を発信しているところも。町会名で検索してみよう。

区役所に問い合わせる

あなたのご住所から、所属する町会・自治会とその連絡先をご案内します。お気軽にご連絡ください。

- 【京橋地域】 区民部地域振興課 TEL.03-3546-5336
- 【日本橋地域】 日本橋特別出張所 TEL.03-3666-4251
- 【月島地域】 月島特別出張所 TEL.03-3531-1151

所属する町会・自治会はどこだろう?

中央区には、一流ブランド店や老舗、食のまちがある「京橋地域」、金融街や老舗百貨店などが連なる歴史ある「日本橋地域」、超高層マンションが立ち並ぶ未来都市と下町情緒にあふれた路地が混在する「月島地域」と3つの地域があります。

そして、その中には143の町会と33の自治会が区域を分けて活動しています。

お住まいのご住所の所属する町会・自治会がわからないときは、ぜひ区ホームページか電話で確認してみてください。



中央区HP

詳細はこちら!



まちかどの掲示板を見る

そろそろ夏が来たなと思ったら、まちかどの掲示板には盆踊り大会や納涼会のポスターが張り出されます。掲示板は区内各所に設置されていて、区政情報の他、地域に関するさまざまな情報も、ここから発信されています。みこしの担ぎ手の募集や餅つきがいつ開催されるのかなど、四季折々の情報があふれています。たまにちょっと立ち止まって見てみてはいかがですか。あなたがときめく出会いがあるかも。



地域によって、バスハイクや寄席、バーベキュー大会など、まちの特色ある情報も集まる。

Column

災害情報の発信



令和元年台風15号による千葉県の大規模停電の際、通信障害が発生し、インターネットなどを利用した連絡・情報取得手段が使用できない中、まちの掲示板がオフラインでも活用できる連絡手段として活躍した事例もありました。